年度とし、

四カ年計画をもつて毎

財政 再建については 本年を第一 通量に対処したい考えであります

く努力しておりますが、市商工会 この博覧会完成のため全力を頻注 して待つべきものがあるのであり

市民の皆様の御期待に添うべ 私始め博覧会事務局職員は

の目的から更生街住宅の新築、 ありますが、環境衞生と住宅改善 れぞれ各所管牒において検討中で その他一般市政におきましてもそ の健全化へ進みたいと思います 千四百万円の赤字を解消し、財政 年六百万円の市費節約により、

め得られます様何分の御協力を御 この博覧会をして有終の美をおさ も十分の御理解と御援助を賜わり の成功を期して活躍されておりま れ重要ポストに就いて強力な協力 護所でも役職員を事務局に派遣さ 先づ第一番に私の考えております

を回顧しこれに仕上げを施す時期 ております通り、過去二年の市政さて今年の市政はしばしば申上げ ありますことは、ど同慶の至りと

今まで青森県が各地の博覧会

にあると思います

であります、産業振興についてはことは産業の振興と市財政の再建

日光等から続々と特設館の申込み

産業振興につ

及は勿論、農業センターの設置に

病虫害の駆除、

ビニール苗代の普

葉の飛躍的向上をはかり、又市道 えの委托試験地を設定 より地域作物の試験地及び各地区

、寒地農

る博覧会場よりの放送等も計画さ があり又NHK、ラジオ青森等に 約がある外、北海道、東京、奈良 既に八百に上る出品小間の申込予 に協力した恩返しという意味から は青森県最初の博覧会という期待 すが、幸い全国各地におきまして きまして着々準備を進めておりま 局におきましては、この方針に基

いても娯楽番組の特別編成によ

つつある模様で、

その盛况は期

張により、最近のおびただしい交 については路面の改修と幅員の拡 脈打つ躍動を続け、

万に垂んとし、

市の施設も着々と

既に人口も五

して理想達成への方向え進みつつ わなければなりません

市制施行以来の本市は生々としてて市制施行三周年を迎えました。 覚えたのであります御承知のよう 思われ、知らず全身の躍動するを ら希望ふくらむ豊かな年のように 私は良きこの元日を迎えて何かし 昭和三十二年の元日は近年稀に見

に我が五所川原市も、

本年をもつ

よ御機嫌よろし

い事と存じます

市 び火葬場の移転等は是非実施した

に仕 覧会には十分の御協力を 上げの 年

五所川原市長

外崎千代

請あつて引受けられたもので、 が立会人として証明されておりま 青森県平和産業大博覧会は、県と 思うものであります、博覧会事務 ないことを御了解いただきたいと の既定方針にはいささかも変りの れにつきましては、三和前代叢士 れて居るのを遺憾としますが、 の共催問題に関し一部誤り伝えら 表佐藤尚武氏も山崎知事からの懇 す通り、山崎知事とは十分了解の 一決定したものでありまして、 として仰ぐ参議院議員、国連代 総 五所川原博覧会の共催につ

る穏やかな朝明けでありました

が認めて居り、この経緯に 伝えた事実を三和氏と市長 つて横山副知事に知事自ら 再確認し、長距離電話をも これについては三和前代議 士が立会人として山崎知事 いう説が伝えられているが と外崎市長が東京で共催を いて県はこれを拒否したと りに語つた うと、最初山崎知事にこ と共催にしたいとの希望 の博覧会の計画を述べ県 先づことの始まりからい いて外崎市長は次ぎの 藤尚武氏を総裁にするの であつた、その後県の財 共催を前提としてのこと で良いと語つているのも 事はこの時自分は副総裁 も詳しく書いてある、知 総裁引受けの書面の中に 佐藤氏に総裁就任を懇請 が良いと言つて知事自ら した、この事は佐藤氏が

> 解といわなければならな びとなつた 発表した談話は誠に不可 の後に知事が記者会見で 決議したわけである、そ 員協議会を開きこの旨を められれば共催差支ない かけないという事実が認 と明言したので、急ぎ全

た、この時知事はそうい つてもらいたいと要望し と共に、知事に総裁にな は断りたいという新聞報 政事情から博覧会の共催

五所川原博のボスターはB全B半共に刷り上つ 国各地に発送した図案は何れもパリ会の企画による たので博覧会のシオリとなるパンフレット もつて県に財政的負担を の際知事は市会の決議を と共に全

立会人として東京で知事 が違うので特に三和氏を 道があり、これでは約束 と会談したわけだが、そ 構を一本化し、円滑な事務 所の協力のもとに事務局機 問題はなく、又世上博覧会 話合いによる確約があつて 知事と外崎市長との紳士的 催問題は別項のように山崎 運営を進めているが、県共 及び農林省ともに事前了解 これについては東北最地局 々の噂が流布されているが 敷地となる農地について様

が、この資金は既に準備済 地主に対する支払いは契約 類をもつて手続中である、 がついておりい目下正式書 と同時に半金支払いとなる の敷地も農地転用以外方の敷地も農地転用以外方 発展した市の歴史が示す通 ているほどである、この点種極的に耕地の提供を申出 ろで、元町方面の地主の意 法のないことは、県も政府 り、かつ水田地帯を中心に でないことが理解されよう 的圧力によつて不当な農地 向も将来の市の発展のため も十分に承知しているとこ 洗布されているようなもの 転用をはかつたものでない ことは明かであり、一部に

一、火事を出すな火を出す なの宣伝がれどヨイモン をなたもすき好んで火 本出するのですかダガ 焼いてならない家と倉焼いてならない家と倉がにするものも心から ソレ皆さん火の用心 に尽力致しませう 火事は此の世の生地獄 なんだで家焼かれませて見やさんせョイョイでは、サンカーの保険やなんせョイョイ 火防ヤットン節

電話が開通しました 毘沙門出張所に次ぎの

六 七 五

皆さん火の用心

五所川原博覧会は商工会議」地の発展は著しいものがあ 農 地轉用既定通 市の事情農林省も了

作曲この程市消防署を訪れ ・ 野暑長の推薦で全市 内 めを歌いまくり大防宣伝の一 ・ 引き買ったで、改谷さんは本 ・ 出身の方で現在北海道は を持つており、民語の大家 を持つており、民語の大家 を持つて知られている、敬詞 がして知られている、敬詞 署長の推薦で全市内 との程市消防署を訪れ という という がいまい 大防ャットン節 の渋谷晴月なる 北海道岩見沢市 人が火防音頭と

- 招集の県議会に提案する運で、山崎知事は来る十八日で、山崎知事は来る十八日 五所川原博の県共催問題は ている 縣の共催決定 題にもメドがつくと思つ 言葉ではないかと思うが くは政治的な配慮からの 心とは信じ難い、おそら いづれ近い中にはこの間

う規模の博覧会ならば佐

知事

は再

確

認

◇原子カビ 原子カビ 館 ◇子供の国 栄中三 平山 Œ

ていますが次のとおりに一位の氏名が脱落し四面貯蓄標語中学の部 ŀ

博覧会の縣共催 私はこれは知事の本

◇ 養林 水産館

◇りんご館

◇電気額

青 森 県

市長室·広報係

電話 28-128-229-537

市の人口(12月末現在) 総人口46,952 男23.210 女23.742 世帯8.297 転入 205 転出 109 出生 87 死亡 39

発行所

発行兼 編集人

印刷所 泉 ED

◇近代工業館 博覽會の內容 二三三、七五坪) 二五坪)

博覧会列車は、市民のみなさまを乗せて、ばく進してゐます。

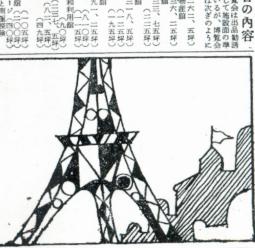
火防音頭

終点の大成功駅に齎くまでは、絶対に市民のみなさまを不幸にするような 脱線はできません。

事務局員は全員仲よくがんばつています。

市民のみなさま!! よい御恵をおかし下さい。

五所川原博覽会事務局宣伝部





体勢を保ち、市民の博覧会として

何卒市民各位におかれて

ら不安めいたものがあつ

なつて東京第一歩は失敗でレゴといわずに五所川原リ

スカートという妙な対照と は一寸たじろぎましたが、

しよう銀座の人達は青森り ンゴと評判していたから、

余りあわてたので作業衣に | つたというところにありま んカメラを向けられたのに | 徳の現われであるが、何よ

りも先づタイミングが良か

◆市長、あれは皆さんが発 どんなに五所川原という印

象が強かつたか知れない

中馬さんどうでしようこ

としても大きな期待を持ち

今回の東京立伝は、博覧,達が待つていてぢやんぢや | 功した原因は市長さんの人

生涯の夢

お

皆さんも感じたことをどし

す時は『喰い がリンゴを出

> 入学する児童は、昭和二十 本年四月あらたに小学校へ

かわらず一月末日ころまで 災による焼傷者が続出して もらいたい 苦しく制限され交各地で火 ときは煙突の外部を確めてことと思われます、ついて 後に碁室のする医り方質が 三 肩相望が可って浮きた

冬は積雪のため防火活動が

三、屋根雪がすべり落ちた 外出しないこと ま病人、子供だけを残して

冬の火防について

でやりました 鈴木、標準語 りましたか

昭和三十二年度新

入学児童について

届けしかねる方もでてくる

がわからなかつたりしてお けする予定でいますが住所 教育委員会より

童身体検査の通知書をお届した、入学通知書と就学前児

ら、念のめた申し添えます 二、『こたつ』をかけたま

旬に行う予定でありますか こたつ』をはづして下さい 査は、各小学校とも二月上 一、座を離れる時は必ず 『

とやりました ヘエ喰いヘエ

中村さん新

れた児童であります。 年四月二日から昭和二十二

これら児童の保護者には、

委員会事務局(市役所二階

れますので次の諸点をよく 多いため惨事発生が予想さ 特に今冬は例年に比べ雪が

等はなるべく二階にねかさ

ないようにして下さい 四、身体障害者病人、子供

縁側、道路、等

おそれいりますが至急教育 うなことがありましたら、 年の四月一日までの間に生 に右の通知書が届かないよ おります。

聞きんは

まあ大成功というわけだが 活躍は大したものだつた、 でもなかつた、娘さん達の が易しでそう心配したもの かけて仕舞いました

◆市長、案ずるよりも生む 役娘さん達にばかり苦労を 見ればさしみのツマでお守 ◆佐々木、私はまあ言つて

驚くばかり は津軽弁でや

皆さん応待

◆三浦、ただ 京の印象は

可役所が

うお願いいたします へご連絡してくださるよ

防止に御協力願います

ic

なお、就学前児童身体検

さん、どう東 う三浦きくみ 始めてだとい

駅え着くや否や新聞社の人

のもあつた程でした、上野 くという感激で眠れないも ますけど、兎も角東京へ行 ると一寸整理しにくくなり ◆鈴木、感想といつて改ま どし喋りなさい (第33号)

そこで先づ引卒者の佐々木

をしている我々が度胆を抜 れに負けじと大々的に報道 東京の新聞はおやんぢやん けて見るとこれはピックリ たのですが、いざフタを開 暗い娘さん達ばかりで何か ながらも何分京京の事情に 会宣伝の第一号であり私共

るといつた具合で、留守

写真右から中村、三浦、鈴

木、三浦(絹)、新岡、佐々木

中馬、長岡の博覧会では毒 あつたでしょうか

り出しました 消し売りを繰

東京が全く

かれるという有様でした、

ろを語つてもらいたいと思 企画室長から大まかなとこ 書き立てるし地方新聞もこ

つて置いたんだよ

つた後直ぐ新聞社へ電報打

◆中島、今回の宣伝が、成 ういう企画は他の博覧会に

五所川原博覽會 東京宣傳を語 1)

出席者氏名 外崎市長、中馬事務官、岸田虎二氏、菊地市議、森市議 でリンゴ娘を中心に『東京宣伝を語る』座談会を開いた 博覧会の計画指導に来五した機会をとらえ、四日午後五時から駅前角は旅館 伝に大きな力を添えられた通産省中馬事務官とパリ会岸田虎二氏が一月三日 以上の成果をあげ付添の佐々木企画室長、菊地、森両市職と共に十二月二十 六日凱旋将軍さながらに市職員多数の出迎を受けて帰庁したが、この東京宣 五所川原博の東京宜伝に乗り出した市役所選り抜きのリンゴ娘一行は、予期

消防長

佐々木企画室長、三浦絹江、三浦きくゑ、中村いく子、 司会広 広 報 係

京 のそれよりもエリザベスサ 番印象的だつたのは東京

|のでピツクリすると共にと||市長さんがいとも気易くヤ ことが大きく扱われている。で事務引継の時でしたが、 ても嬉しかつた 時夕刊を買つてわれわれの ◆佐々木、私共が東京へ着 ◆一同、全くそうネ いた夜浅草見物に出かけた

◆一同、鈴木さんは実に要 橋ファンになつて仕舞いま りももつとはるかに優しく

◆森、私は市長のお伴をし つたと思います さんや岸田さんのお蔭であ

だといわれたのは非常に嬉 ーパーの形だつたが銀座で ◆菊池、われわれはオブザ きであつたが、これも中馬 大きく扱つて呉れたのは驚 である東京新聞があんなに しかつた、又立売新聞の王 も役所でも津軽娘はキレイ

てその活躍ぶりと市長が中一つた(笑)。

まれない混血の子供達に接 ンダーズホームを訪れて恵

銀

通

りて

田通産大臣に会つたときの の減るのも忘れて仕舞つた 央に顔の広いのに感無量腹| 皆さん石橋総理大臣や水 どんな雰囲気だつたの テーに招待されたそうだがしいので小言たらたらだつ

感想は アヤアと石橋さんをつかま ◆鈴木、あれは丁度通産省 映画で見る以外にないよう の及ばぬ豪華なものでした

仕舞いました、石橋さんと えさあ皆んな来いというの で私共が忽ち大臣を囲んで しまつた: つた人々の豪酷な服装、そ な立派な室内の調度や、集

親近感の持てる人で私も石 果を上げて呉れた いう方は新聞などで見るよ。ても活躍して呉れたね、あ。来るしこのため市長さんと ◆岸田、ほんの思いつきで ◆中馬、石黒敬七さんがと れが博覧会の宣伝に大分効 ーマはあなたのもので… 岸田さん、この宣伝のテ

をばへ行つて握手して仕舞 れをやろうという返事が遅 そばへ行つて握手して仕舞 れをやろうという返事が遅く ほがよくて直ぐ石橋さんの してね、市役所の方からこ 一かつたので大分困つた、銀一喋つていましたね ましたよ

居たことがあるそうで、一 生懸命通行人にそんな事を 原を知つていました、七和申島、石黒さんは五所川 というところに四日ばかり

産業 豚 指 導 シリー

0

リーズ

リカルますが、その部の てでの出蔭 ・ での出蔭 ・ 方のくすか ・ 手方一とら

消防署職員 長内 勝雄 平山晃一郎 春藤 杉野 大屋邦喜代 久末 小野金五郎 外輪千代吉 主 見習消防士 角田美喜悦 鶴谷 高橋

調查監議係(消防士艺)

± "

長

エリザベスサンダーズホ ルベルや子守唄を歌つて呉 れた時は、同じ人の子と生 中高川橋 定姓 まい

東京都千代田区有梁町 五所川原博覧会東京事 日活国際会館 務所は次ぎのように決 電(2九八七大 六三八〇

思います、この体験を土台 様がなかつた ざまの尊い体験をされたこ 思いますどうも有難ら御座 分はげんでいただきたい とは大きな収獲であつたと ろ、これからの人生にさま 京へ行くことが出来、いろ から夢想だにしなかつた東 中に涙がとめどなく出て仕 ものさまざまで、見てい ◆市長、色の白いもの黒い としてこれからの職務に十 いろ苦しい事があつたにし 皆さんが市長さんの親心

主 催 五青 所 川森 原 市県

靑

縣

平

和

產

業

大

博

覽

会

1

娘

座

談

會

五所川原市消防署新機構編成表 (日今)名 (主年名) (士長三名)

斋

係

防

保(消防士を (消防士区)

司令 福長司令長

等長一副本 (司本城 第) 千長 香香 長 前勝長 (士長二名) 第三車輪長 第一車報長 第二車輌 E. (生长二名) 今車 消防士午一名 消防士(十二色)

巴里会のクリスマスパー |座の商店主は頭が高く喧ま 消防士(十三名) 湖防士(千万万) 消防士 (二名)

消

防

◆中村、それは私達の想像 | 一度も頭を下げたことのな | ◆中村、子供達の境遇とい たが、巴里会としては未だ。つて下さい が出来た 1 ムの印象を少し詳しく語

かれるようで暗い気持ちに 達と比べ、何かしら胸を突 れながら余りにも違う自分

◆中馬、いやあ岸田先生の 下げて曲りなりにもやる事 私達 の前で 無心 にジング なりましたいこの商店主にとうと頭を うものを知つていたせいか かれるよう

かれて…全く我れを忘れて | たよ自らメガホンを取つて れに音楽なども生のまま聞 活躍は素晴らしいものでし んで警察から厳しい注意が れ道路の使用も無許可なも

岸田先生が散々な目にあい

守つていただき火災の未然

秋田、山形、新潟班

行われる

酒造、

木材関係一鉄びんの産地、県、市、

五

所

JIJ

原

博

覽

會場

五所川

原

市

會期

九月十日まで

していただきたいと思いま 五分は必要とします、要す み三件、馳込み一件、

れば通報の遅速が火災の大

署の調査一件となつており 件、電話が九件、事後開込

消防

0

二国谷勝四朗

と思います

火事は最初の数分間が

先づ火災発生の場合は、皆 よりますと、消防署が通報 ういう形で発見されたかを

の不詳事を起さないよう、

築物は延焼速度の早い木造 るでしょう

防機動力はまだ規準以下で ことは過去二回の大火の数 又市の火災予防条令にも規

あります、加えて市内の建 訓が最も維弁に物語つてい 定されているのであります

試みに昭和三十一年中の火

とは申しましても本市の消 とよく判ることです、この たい事ですし、このことは

皆さまと共に御同慶にたえ 一番大切であることは、今 椿や砂、消火器等を備えつ

までの火事の経過を見ます けて置くことも是非実行し

ないところであります

の報告は次ぎのようになつ

万報告会を開いたが、各班 ある、四日午前十時から商 はるかに上廻る好調ぶりで 申込みも二、三あり予想を みがあり、この外特設館の め県内外から相当数の申込 ところ農機具館の大百を始 殺倒している、現在までの

工会議所で出品勧誘班の帰

るとのこと

パンフレットの類は近く印 調に進めており、ポスター

年にない現象だといわれる が商店界に現われるのは致 新生活運動が浸透しはじめ んナルと言つているから、 きな点は、矢張り何として が、この原因として最も大 が強い、人出が少いのも例 外れでサッパリだという声 界は、どこもかしこも思惑 けが悪く、農家の現金収入 こんだ旧正年末年始の商店 も貨車不足からトント品ば 務局長も 旧正五所川原市内の景気は 村に新らしい目覚めが起り 店でさへりとてもぢやごへ そしてこれを契機として養 映画館、パチンコ屋、飲食 も豊作貧乏だということと

豊作景気を当て

という豊作新記録のリンゴ たことだという、

出品勸 誘好調

針通り宣伝、出品ともに順 五所川原博覧会は既定の方 | 者から相当数の申込みが予 既に一千小間の申込み 想され、県庁ではおよそ二

既に続々として出品申込が び事務局職員を各班に編成 ける一方、各委員会委員及 て一流メーカー等に働きか 道府県及び主要都市を通じ 物の勧誘については全国都 発送の段取りである、出品 直接の話合いで県出品を十 刷をおわり全国各地へ一斉 全国各地に出動中で ◇山形県では商工労働部長 れている で好調に出品勧誘が進めら 町出身で同市の千疋屋デバ のこと、商工会験所も板柳 五小間位を予定していると 1ト社長永沢儀助氏の斡旋

する外メリヤス製織機の持 込実演がメーカーによつて ◆福島県、梨、柚、会津塗 メッカだけに県下商工業界 の即売館を県の主体で出品 から多数の出品が予想され 岩手、宮城、福島班 ◇東青、県南、東青の和田 **獲賀神社等からの出品も二** を計画中で、この関係だけ 弘南バスも相当規模の出品 品確定、東北美容専門学校 造、アサヒシードル等の出 十程度は見込める 大鰐観光協会、黒石温泉郷 でも五十小間が予想される

頗る好意的で二月中会議所の出品多数が予想されるが、観光協会、南部せんべい等 の役員会を開き県内業者に 県から全国物産館へ十五小 秋田県、市、商工会議所共 議所の呼びかけでメーカー ◇宮城県、仙台市の商工会 凡そ二十小間が確実、南部 ら合計六小間の申込確定 をおさめ得ましたことは、 方面では合同酒精、十和田 から十小間位出品を予想

十前後の小間は可能と見て 東、小樽市では三馬ゴム、 東洋ゴム、バンピキヤラメ 返しとして相当の協力を では一昨年の北洋博の御 全体的に好意的であり函館 北 海 道 班

置る計画中 道庁では北海道特設館の設 ル等の出品がほぼ確定、又 青森県內

を約束、特に豊機具工業の ◆新潟県は二十小間の出品 葛西織物、津軽途、弘南酒 織物は機械持ちこみで実演 津軽地方紹介の絶好期と 市が主力をそそぎ、全国に て出品を促す旨を確約東北 中弘南地方にあつては弘前 てあらゆる業界に呼びかけ 今年こそは無火災記錄を

博覽會中は一層の注意

消防署長五所川原市

小

野

金

五. 郎

の措置として、各家庭に水

思う次第であります

知のことでありますが、消 要素で、皆さんも十分循承

ならないのでありまして、

ます、初期消火ということ

た実情なのであります、

(第33号)

して、

寛酸湯を筆頭に大橋家具等

決定次第説明に来てほしい | ◆岩手県、名にし負う南部 | 深浦歓光協会及び金木町か | は殆と無火災状態の好成績 出品勤誘を行うから、期日 間の出品が約束されている |◆西北、木造長谷川酒造、| の強化拡充と相まつて昨年 消防隊の到着を待つように に着手するまでは少くとも 生率は極めて少く、消防力 さん自身の手で対決しつつ を受け現場に到着して放水 細別して見ると、望桜が十 市制施行以来本市の火災発

五小間の出品が約束されて 工会職所が中心となつて十 梅澤で新生活運

休みと祝言の取決めについ この旧正月を機として正月 寄り寄り協議中であつたが しい生活の立直しについて 所川原市編入と共に、新ら 梅沢青年団と婦人会では五 △小正月は廢止する 休嫁婿の里帰り挨拶廻り は以上の期間中に行う

△大正月、年越一回、休み い新生活運動を推進になつ て次ぎのような申合せを行 る

△三歳は休み

小正月廃止・祝言にも制限 動

が昨年より二三割方増加

際商店界としても経営費 のではないかと思う、実 ということに原因がある

して家族的な休養日とす し、婦人の集いなど主と 客よせもこの期間にする 小正月の休日は二日間と 滑化をはかるため、昨年暮 要路線の除雪作業を行つて ザー一台を購入し、市内主 小杉製作所作製のブルトー の交通確保と消防活動の円 市消防署では多期間の市内

は三ヵ日、四日五日は半――止め、柳代は五百円に制「民は、十三年来といわれる「可申請のところ、このほど」り大きな福音である「大正月、年越一回、休み」△祝言、宴会は一日限りに| まされている漆川地区の住 | 水道拡張工事設計変更の認 | 十二年恩の兼力から いるが、例年大吹溜りに悩

結納は紋付を含んで三重 又はたんす二荷とする 荷はたんす長持ち各一荷

ねまでとする

ル大活躍

面 島、

るため、昭和三十二年度上 と柏原方面の給水を増強す 市水道課では機島町新宮線 年内に給水 新宮方 | 定が厚生省で行われるが、 申請中で、 認可の指令があつた、昭和

小に大きくひびいて来ると 機島新宮方面の住民には三 外前記工事費一千八百二十事費の起債割当一千万円の その大半が自家から火が出 十二年度の給水が日能とな 三万一千円を加えて起債を 三十二年度の上水道拡張工 近くこの起債査



しているところへ、売上

景

氣

は

サ

ツ

パ

IJ

++

田正

0

五

所

ĴΙ 三千万箱

原

商店

界

およそ想像出来ようという

もの、商工会議所の嵯峨事 登乏が生んだ旧正月の明暗 てはこれが蛇か鬼か、豊作 が、さて町場の商店界とし 向上として喜ばしい傾向だ と語つている、農家の新生 活運動は農村の生活文化の

(写真は人出もまばらな駅

正月景気をおお歌している 年の三割滅が軒並み、最も し方なく、先づ売上げは例 きな痛手で、このしわ寄せ の途が塞がれているのは大

> つて来るのではあるまい 新らしい工夫が必要とな これからの商店経営にも 手上げというところだし げ三割滅とあれば全くお

こと、それに何としても 人の出入りが少なかつた 交通が杜絶し市街地への には十数年振りの大雪で 新生活運動の浸透と一つ 二筋沧……

農家の現金収入が少ない

なく非常に喜んでいる

常備消防以下千五百の勇み 雪晴れの三日午前八時から五所川原市の消防出初式は

高橋



一今年の大雪にもブルトーザ ー除雪で交通杜絶の悩みも りを除雪中のブルトー (写真は漆川地区の大吹溜)

消

防 出

初

式

建築物が大多数であるため 消防に携わる我々の経験に 災発生件数二十四件を、ど 名誉のためにも、火災など 防隊が到着までの自力防火 市民お互の幸福のため火災 は大火防止への最も重要な の事実から見ましても火気 うことになるわけであり たのを知らずに居るといつ が予想されますので本市の 込んで、市内は大変な混雑 催され、沢山の観客が入り 曾有の大博覧会が本市に開 殊に今年は青森県として未 の絶滅へ向つて進みたいと には万全の注意を怠つては 特に皆さん方に御協力を御 三浦 藤 員長 副委員長 長 委員長 委 委 議員から成る名委員の構成 一、出品委員 秋田長兵衞 副委員長 委員長 鈴木 連治 阿部消四郎 片山 英 副委員長 委員長 田中專之作 三上 泰助 は次ぎのように決定した 一、総務委員 、出品委員 企画委員 孝 佐々木彦太郎 秋元 久吉 三藤田平 福士 太郎 紫真郎 菊池 清助 成田 伊藤 金作 田附健四郎 成飛小田島野 沢田長吉郎 長尾 岩見 〇第二部 斉藤慶次 敦質友之 今大右工門 成田不 弘 慶造

警察署拾名、消防署拾名を 以つて警備に当る(予定)

委員長 青午団協議会長以下参拾名副委員長 木村秀之助 佐々木友太則 小野金五郎

警備委員 小田桐政吉

監查委員 庸

平阿山部

保信

伊藤柾四郎 修三 小立原松雄 石井政次郎 出籍 忠雄 木村 利雄 木下浅堀村山利内

平山武太郎 太田繁太郎

施設委員 金川 鉄男

委員長

副委員長

飛島 孝英 北半小川沢野 松谷

佐藤 忠維 大久保新市

鷄谷初太郎 松本与三郎 外崎善太郎

雄逸

委員長

宜伝委員

副委員長

員

尾崎 藤雄 虹川万一郎 渡辺駒三郎 宮川健三郎 国谷勝藏 秀雄 尾崎長左 小田川清美 野村郁之助 春藤 対高馬 和島 達雄

五所川原博に 協力しましょ 1957年7月21 9月10 (第33号)

から日毎に滞貨量を増し、

所川原地方の豊作リンゴ

ながら空しく

處置

縦覧に供しますが御参考に 級を三月一日から三十日間 税賦課の基礎になる課税台 昭和三十二年度の固定資産 固 定 資 産 税 覧そ 課 税 適正なる時価によつて価格 Ø 他につ 台 帳

LI

ように重要な点が変りまし 資産税関係についても次の て更正し、境界変更とか、 重要な点を御説明いたした 価格は、昭和三十二年度は までは毎年一月一日現在の あります、御派知の通り今 ◆第一は基準年度の設定で の年度においても、一月一 一部改正に伴いまして固定 と思います、地方税法の して更正いたします 日現在によつて比準価絡と 新集、增改築、減失、取駁 三年度を第二基準年度とし そのまま据置き、昭和三十 一基準年度として決定した すが、昭和三十一年度を第 を決定してきたのでありま 等の場合は、基準年度以外

法の規定する申告期限の一 に申告用紙を配付して、税 戴くようお願いたしておき 月三十一日までに提出して ては各該当納税者の皆さん ◇なお償却資産につきまし きないということです いて

置となりますので例外の場 のでありますが、申告され 審査の請求をすることがで 固定資産評価審査委員会に 合を除いて価格については 年度の価格が原則として据 価償却の上価格を決定する ◇第二は昭和三十二年度は 基準年度である昭和三十一 第二年度にあたりますので して売却資産は毎年一月中 固定資産課税台帳の ませんと磁価償却をしない に申告して戴きまして、 ねてお願申し上げます に何卒御協力下さるよう重 かるい税務行政確立のため なり、色々と手違も生じま で価格を決定することにも います、土地家屋と違いま すので正しい申告によるあ 破

を成して来たわけですが、

改正によると、家屋、土地 なる時価による価格の決定

まして地方税法の一部改正 昭和三十年通常国会におき 年度であります 御参考にしたいと思います 重要点について解説致し、 帳を三月一日から二十日間 縦覧に供しますが二、三の まり基準年度のみに限り価 格の更正を行うと云うこの 据置となつたわけです、 第一基準年度は昭和三十一

0

下に一般関係事務を進めて きな経費と労力を必要とす

に於ては税法の規定す

い事と

位

税金すませてにこ るこの道路 納税のおかげで光

にこ家庭

高野小六 位 るので万止むを得ない場合!

()

納税で国が栄える

市がのびる

田川小五

高橋

水野尾小六

小田桐満弘

居ります

産(営業の用に供する諸道 尚先般 (一月大日) 償却資

対して審査の請求をするこ 固定資産評価審査委員会に 新増改等減失取毀等に係る (勿論客体の異動したもの

一年の価格を据置く方針の とができません従つて三十 二年度は例外を除いて三十 ているのですが、申告がな なければならない事になつ 分)の経年償却費を控除し 申告致して一年分(過年度 すのは償却資産に限り毎年 つて居ります、と申しま 申告が少く当局は非常に困 いとこれが客体の把握に大 一月三十一日迄) に至るも 一月中に該当者はもれなく

りますがこれが指定期限 (節柄 何か と御 忙し 該当納税者に配布致して居

が行われたのであります

属する。1月一日現在の適正 価格については原則として 査を行いまして当該年度の 価格の据置きとなる物件の の評価額は毎年一回実体調 第二点は以上の改正により あります御承知の通り従来 おいても価格変更します) 第一点は基準年度の設定で 分は基準年度以外の年度に

ましたが、まだ申告されな 昭和三十二年度の固定資産 にあつては三年に一回価格 い方が沢山あるようでござ 税賦課の基準となる課税台 の更正を行い三年間価格の 一般縦覧その他につ

員の体給の如き延ばして置

ゴ。

は旧多来の貨享廻り不円滑 さぶ深雪の野外に約一万箱 待つている、不作でたたか のリンゴが、寒さにふるえ れ豊作でたたかれる『二重 、貨車の到来を もかしこも生 配陳情で大童 局への貨車増 代表は鉄道当 あつて、業者 なさ過ぎると のみでは能が 手をこまねく からといつて のみだが、だ に天をうらむ は、いたづち 苦」の生産者 産地を抱えた たがどこ 荷物も、全く飾物になる訳 声高らかに市民に呼びかけ の御理解と御協力を得なけ 田園都市の建設は、皆さん 司る車である以上は、油が である。だが市民の運命を も、折角車に積んだ立派な 術に勝れた手腕家であつて 如何に運転手(市長)が技 油が無く車が停止しては、 税は油であるのだ。然るに たとえば市役所は車で、納 画餅に備するものである。 る協力がなければ、空しく を立てても、市民の理解あ 如何に理事者は遠大な計画 ているが御尤な要望である ればならぬ」と、理事者は 滞納は早期に手術を 『市政の目標とする理想的 税は、此の為め益々高くないと口説いて居る市 納者の為に生ずる損害であ 市政運営上是非必要な油は 完納者にとつては甚だ迷惑 は完納者も負わされる訳で するなら兎も角、其の損害 るのだ此の無駄な金は、滞 ねばならぬ。さなきだに高 局あたりから一時借入りせ 利子を払つても銀行や郵政 な話である。 るから、滞納者のみが負担

ギーギーと悲鳴を挙げつつ するから油の切れた車は、 は知りながらも、車を運転 訳には行かぬ。故に無理と 欠乏しても一刻も休止する をが、油の欠乏は吾々市民に をが、油の欠乏は吾々市民に 是れ独りわが市ばかりでな なぜ欠乏するのであろうか 想うに条令で定めて居る督 500 各市町村の状態である

に全く処置な した滞貨処理 杯を埋めつく 駅は、空地一

しといったあ

(写真は見渡 す限りリン ゴで埋まる

用品の供給者は競争的に値 が、何時油が渡るものやら 取るに殺到するものである 油さへ十分であるなら、需 動いて居るのである。 手術して居るであろうか る者に対して、初期の内に 病に罹つむなアと認めらる て徹底的に実行して居るで 初期の内に手術を施し、早 促手数料や延滞金は、果し ぞ痛いだろう、苦しいだろ 民を愛するのだ、徒らにさ く全快させてこそ本当に市 あろうか。又此の人は滞納 と不びんを加えて手術を

かれぬ性質なものは、高い である 是ではならぬとあわてて 大手術を施しても、もう遅 悪く行くと生命に保わるの い。巧く行つて半身不随、

のである。 のだ、其の実は市民を殺す 市民を案じての処置かも知 過ぎ去つた事は仕方はない らんが、何も有難くはない 斯くの如き緩漫な遣り方は

ます

平素予防法を講じて、明る 快な滞納病に罹からぬ様に さぬ様にしてくれねばなら 手術を施し、重い患者を出 行すると共に、初期の内に が、今後は条令を厳重に実 ぬ。又吾々市民に於ても不 生活を営む事に努めまし

市内字弥生町 一九 七十八才

おります

御期待に添

御承知のことと思います。 納と未払が多かつたことは 際に旧町村から引継いだ末

税務課としては百パーセン ておりますがまだ相当の滞 ト徴収を目標に鋭意努力し うべく努力

まで出されたことに対して 努力の足りない点を深く御 滞納者に対する措置を簡単 詫びしますとともに現在の 納がありこのような御意見

点の応募があつた、 を募つていたが、総数五百 結果中学の部が二十審査の

応募実に五 百 點

童 Ø, 納 税貯 蓄標 語

三位

金がいると思つた

ときはもうおそ

はたらけはたらけ貯金も

松ノ木小五 寺田

跷子

五所川原中二

長沢英一

位

つりせんはひと先

三位

国のため世のため

づ家の貯金ばこへ

市内の中小学児童から標語 る 一市内の中小学児童から標語 る

雑 野里小四

土岐

ふやせ

席特 納税標語 税金でたすけらい 小学校の部

あかるい家庭は貯金から 七ツ館小五 貯金ふやして平和な家庭

藤田

静子

五所川原中二 山口加智子

日一円富士の山

柴田

あの家この家揃つて貯蓄

4

專太郎

点を厳選し 審査の

りて滞納病は益々重くなる|さんの自主的な申告等を基|年から重点的に滞納処分に延ばしている内に、積り積 市役所では、納税者のみな|この末納を整理するなめ昨 微収しており、なお納めな 着手すると延滞金、延滞加 場合督促状が出ると間違い は微収係員が直接訪問して 人は期限までに納めないた 税をしても納税者の一部の このように公平を期心で課 出さない人には税務署等の ながなつとくのいく課税を 本として公平なそしてみん 算金も徴収するようにして を徴収しており滞納処分に なく手数料(一件二十円) しております、このような い人はやむなく滞納処分を 本市は町村合併で誕生した 御要望の早期の滞納処分は め督促状を出して督促し又 資料に基いて課税しており するようにしており申告を され、 数料延滞加算金を必ず徴収 早期処分を実施し、督促手 今後はこのような方法は確 をお含みの上、期限内に最 のみなさんも充分この方針 するようにします、納税者 滞納処分にまわして滞納の 止して今までの集金の力を せて滞納の増加を極力防止 庭を訪問させ徴収にあたら このため徴収員を常時各家 と思つている納税者が多く 納めるものだということよ きない一つの原因は、税は この外に早期処分に着手で な状態であります 着手し今日に及んでるよう して来たのであります り、税は集めに来るものだ

営と、市発展に御協力下さ るようお願いたします 寄の市金庫か出納員に納付 明るい税務行政の運 (市税務課長)

⊙一席 貯蓄はあなた 特 貯蓄 標語 選 五 大坂

滞納は家の恥市民の恥

前田目小六 新谷 神一 父さん納めました

○二席 にこにこ貯金 一位 につこり笑つて前田野目小四 新谷忠三 七ツ舘小四 あかるい学枚 の命のつな 葛西

O (常 二位 松ノ木中一 一位 へ廻せ お金を預けて明る 貯蓄の花を いむ 藤田

伝治 ○二席 明るい一家は貯金 で育つ 特 選 みんなで咲かせよ

むだを省いて貯蓄

貯蓄標語

納税であかるい田園五所 全 木村 紀代子早く登ろう貯蓄の山へ 五所川原中二 竹林洋子 中川顔中 三好中 凶作も貯蓄があつて笑 青山タツエ

佐藤 明則

無駄使いやめて貯金

藻川小五

小五 川浪 佑攻 げと父の笑顔

高野小四 斉藤 愛子

する子はよい子

美子

納税も貯金のおか

一ノ坪小三

福士光子

で明い心

忘れてならない貯蓄と納 長尾

納税貯金で新市建設

礼子 正美

耐税も貯金もすん

中川中 舘山 挙明るい市政に完納第一 らの町造り 外崎

税金を笑顔で納める

りつばな市民

渡辺

藻川小四

川浪 康子

町も納税第

納税を一気におわつて 三好中 進んで納税明るい

明るい町住みよい 楽しい貯金笑つて納税

金山小五

工藤 栄子

◎二席 貯蓄したおかげる 五所川原中二 角田 三位 納税で明るいわれ 二 位 仝 中川中 位 こぞつて納税心が 三好中 豊か 税金完納し 野呂 忠 健司

げます

すよう重ねて御願い申し上 し係の方へ御連絡下されま みやすい税 としてどしど 行政を遂行致しよりしたし しい申告による明るい税務 の一層の協力を得まして正 は思いますが、市民の方々 合も当面するわけです、 認めない処置をとらざる場 により一年分の償却経費を

おらが市は言われ

藻川小大

川浪カツエ

る前に進んで納税

住 海川小六

高橋

義和

三位 税金を笑顔で納め

小笠原イチ子

和子

○一席 税金に督促つけな 沖飯詰小六 藤森ゆり 納税標語 中学校の部 貯金して待つ修学旅行 飯詰中三 柴田 い明るい家庭 沖飯詰小四 舘山佳? 藤森ゆりて